

1 本年度の重点教育目標

みんなが、認め合い、高め合うなかじまの子

2 本年度の取組の重点

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| ①自分や友だちを大切にすることの育成 | ④自分や周囲に負けずに挑戦することの育成 |
| ②進んで学び、自分の考えを広げることの育成 | ⑤学校運営協議会による学校を核とした地域づくりの推進 |
| ③自信をもって判断し、行動に移すことの育成 | ⑥子どもと向き合う時間の確保 |

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
①自分や友だちを大切にすることの育成	挨拶や言葉遣い、マナーの指導の強化と集団生活のルールを身に付けさせる指導を推進することができたか。	b	学級指導や委員会活動の「挨拶運動」等を充実させ、集団生活のマナーやルールを身に付けさせていく。	A	A	・なぜしない（できない）のかを追求していくことが大事だと思う。
	教育相談週間やいじめ対策会議、関係機関等と連携した取組で子どもに寄り添うチーム支援を進められたか。	a	校内特別委員会を充実させ、全児童を全教職員で見守り育てるチーム支援を強化する。	A	A	
②進んで学び、自分の考えを広げることの育成	「読書」や「書く」力を伸ばす取組で、言語能力を基盤とした思考力育成を推進できたか。	b	図書館を活用する取組と合わせて、活字に触れる機会を増やし、豊かな言語能力を基盤とした思考力の育成を推進する。	A	A	
	理科専科・算数科複数体制指導により論理的思考を育んだり、個に応じた学びのサポートができたか。	b	専門生を要する教科の指導を充実させるための校内体制を構築する。	A	A	
③自信をもって判断し、行動に移すことの育成	自分や集団で生活を振り返り、課題の解決に向けて行動する特別活動や「考え、議論する」道徳科の授業を通じ、道徳性を育むことができたか。	a	引き続き、生活を振り返り、解決に向けて自ら行動する力を育む特別活動（学級活動や行事、委員会活動、クラブ活動など）の充実を図る。	A	A	
	多様性を尊重した教育環境作りと特別支援教育の充実を図ることができたか。	a	引き続き、児童個々の特性に合わせたインクルーシブ教育を推進する。	A	A	
④自分や周囲に負けずに挑戦することの育成	GIGAスクール構想の新たな学びを積極的に進め、児童が習得して活用できる力を高めることができたか。	b	一人一台端末を活用した授業作り・授業改善を進め、個に応じた指導の充実を図る。	A	B	・家庭にネット環境がない場合の対策が必要である。
	評価サイクルを前後期制とし、長期にわたる見取りによる身についた力を評価し、授業改善を図ることができたか。	a	保護者及び児童からのアンケートを含めた年2回の学校評価を実施し、教育活動の検証改善を図る。	A	A	
⑤学校を核とした地域づくりの推進	学校運営協議会による学校を核とした地域づくりを推進することができたか。	b	あらゆる機会を通して、教育方針を積極的に発信し、教育活動への理解とめざす大人像の共有を図る。	A	B	・いろいろなことが縮小や中止を余儀なくされているが、できることをできる形で少しずつ進めて欲しい。
⑥子どもと向き合う時間の確保	教育環境充実を目指した教職員の業務改善の工夫を図ることができたか。	a	ICTの積極的な活用で教職員の業務の効率化・平準化を更に推進する。	A	A	

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。